

日本最大級の木造建築 建築史上に類のない

静岡県草薙総合運動場体育館

このはなアリーナ

(静岡市)



撮影:吉田誠「日経アーキテクチュア」2015年5月10日号

観客席数は2,700席。国内最大級の木造建築であり、国内有数の屋内スポーツ施設となっている。

静岡県草薙総合運動場 このはなアリーナ

静岡県静岡市駿河区栗原19-1
電話:054-261-9265
供用期間:1月4日~12月28日
供用時間:8:30~21:00
JR 静鉄清水線 県総合運動場駅下車徒歩3分
JR 東海道本線 東静岡駅下車徒歩20分



ることは国内で最も難易度の高い仕事だったと思います。大切なのは「人が集まる場所」であること。大きな空間はともすれば人を拒絶するので、私は人の居心地にこだわりました」と内藤さん。その言葉通り、同館の美しさは人が集うことでのいつそう輝きを増す。

同館の完成式典が行われたのは4月2日。その3日後の4月5日にはこけら落としとして「大相撲富士山静岡場所」が開催され、会場を埋めた満員の観客が力士同士の熱闘に沸いた。

美しく居心地の良い空間の中で繰り広げられる名勝負。「このはなアリーナ」にはスポーツの記憶をかけがえのない「心に残る思い出」に変える力が宿っている。人が集まるこの場所から、今後、多くの感動が生まれることだろう。

和の国日本、 その源流を 考える。 日韓の縁 静岡から

◆知事対談

1 このはなアリーナ

静岡景観

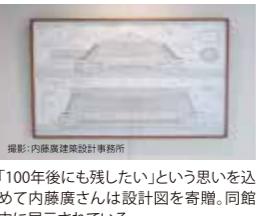
内藤廣(ないとうひろし)
建築家・東京大学名誉教授
1950年生まれ。1976年早稲田大学院修士課程修了。フェルナンド・イケラス建築設計事務所、菊竹清訓建築設計事務所を経て、1981年内藤廣建築設計事務所設立。2001年から東京大学院教授、副学長を歴任後、2011年に退官。静岡県内の建築作品に倫理研究所 富士高原研修所(2001)、とらや御殿場店(2006)、とらや工房(2007)、静岡県草薙総合運動場体育館(2015)がある。

今年4月、静岡県草薙総合運動場の新体育館「このはなアリーナ」が完成した。曲線と直線が織り成す力強くも柔らかいデザインは、周囲の景観に美しく調和し、早くも静岡の新名所になりつつある。同館の特徴は静岡県産の高品質な「天竜杉」をふんだんに使つてのことだ。原木約7000本に相当する大量の木材は、内装だけでなく構造にも用いられ、日本最大級の木造建築として偉容を誇る。建築面積は9701m²、延床面積は13509m²に及び、メインプロアの巨大空間は思わず息を飲むほど美しく芸術的だ。しかし、屋内に木の優しさがあふれているため、威圧感はまったくない。居ながらにして森林浴をしているような安らぎさえ感じる。

同館を設計したのは東京大学名誉教授の建築家・内藤廣さんだ。「今回の設計・施工は過去に例のない挑戦でした。静岡の風土を生かしながら、木造で大空間を創出し、なおかつ大地震に対する備えをする



同館の名は富士山の御祭神「コノハナサカヤヒメ」にならぶ。この場所から東方に富士山がそびえる。



「100年後にも残したい」という思いを込めて内藤廣さんは設計図を寄贈。同館内に展示されている。



世界に誇る 防災先進県

13

◆県政特集

1 このはなアリーナ

静岡景観

このはなアリーナ

花の都しづおか
アカオハーブ＆ローズガーデン
牧之原市 花の会
ふじのくにを食す
クラウシメロン・アローマメロン

18

旬の人

加藤桃子さん